

キリストの唯一の頭首権の下で彼の復活の命の中を生き、  
すべての事がかしらであるキリストの中へと成長し込んで、  
キリストのからだの実際となり、キリストのからだを建造する

聖書：Ⅱコリント 1:9. コロサイ 1:18. 2:19.

ピリピ 1:19-21 前半. 3:10. Iコリント 6:17. エペソ 4:15-16

I. 召会はキリストのからだとして、絶対的にキリストの復活の命の中にある有機体です  
——コロサイ 1:18. ヨハネ 11:25. 使徒 2:24. 啓 1:18. 2:8. ピリピ 3:10 :

A. 復活の原則は、天然の命が殺されることと、神聖な命がそれに代わって起き上がる  
ことです——Ⅱコリント 1:9。

B. わたしたちは天然の命と旧創造の中にいるとき、からだではありません。わたした  
ちはキリストの復活によって発芽した新創造の中にいるとき、からだです——エペ  
ソ 1:19-23。

C. 復活の中にいることが意味するのは、わたしたちの天然の命が十字架につけられる  
ことと、神が創造し贖った、わたしたちの存在の一部分が引き上げられて、復活に  
おいてキリストと一になることです——ローマ 6:4, 6. 8:2, 11. ガラテヤ 2:20。

D. わたしたちは自分の天然の命によって生きるのではなく、わたしたちの内側の神聖  
な命によって生きるとき、復活の中にいます。この結果はキリストのからだです  
——ローマ 6:6. 8:11. 12:4-5 :

1. 神の民の間のリーダーシップは、復活の命としてのキリストご自身でなければな  
らず、それは芽を出し、花を咲かせ、アーモンドの実を結びます——民 17:8。

2. キリストのからだの表現としての召会生活の中で、わたしたちの語るあらゆる事、  
わたしたちの行なうあらゆる事、わたしたちであるあらゆる事は、復活の中にな  
ければなりません。

II. キリストは、団体的には召会であるからだの唯一のかしらであり、また個人的にはす  
べての信者の唯一のかしらです。彼は、わたしたち一人一人の直接的なかしらです  
——コロサイ 1:18. Iコリント 11:3 :

A. かしらは権威の事柄です。キリストがかしらであるとは、彼がからだの中でいっさ  
いの権威を持っているということです——コロサイ 1:18. マタイ 28:18 :

1. キリストの頭首権の下にいることは、絶対的に彼の権威の下にいることです——エ  
ペソ 4:15。

2. からだとからだのすべての肢体に指示を与える権威は、かしらにあります。

B. わたしたちがかしらの権威の下にいるかどうか、わたしたちがからだの命を知っ  
ているかどうかを決定します——Iコリント 11:3. エペソ 4:15-16. コロサイ 1:18.  
3:4 :

1. からだは、ただ一つのかしらを持つことができるだけであり、一つのかしらに服  
従することができるだけです——1:18。

2. キリストは唯一のかしらです。わたしたちは彼に服従し、キリストの唯一の頭首  
権を尊び、証ししなければなりません——エペソ 1:22-23. マタイ 23:8-12。

3. からだの肢体はかしらに結び付くことを通して、共に組み合わせられ、からだの生活をすることができます。わたしたちとかしらとの関係が、わたしたちと他の肢体との関係を決定します——エペソ 4:15-16. I コリント 12:18, 27。

Ⅲ. キリストのからだの実際は、神の贖われた一群れの人々です。彼らは神によって神・人とされ、自分自身によって生きるのではなく、別の命によって、すなわち、手順を経て究極的に完成された三一の神によって生きています——ガラテヤ 2:20. ピリピ 1:19-21 前半. 3:10 :

A. キリストのからだの実際は、成就された神・人による団体の生活です。彼らは真の人ですが、自分の命によって生きるのではなく、手順を経て究極的に完成された三一の神の命によって生きています。手順を経て究極的に完成された三一の神の属性は、彼らの美徳を通して表現されます—— 1:19-21 前半。

B. キリストのからだの実際は、すべての神・人による生活です。彼らは人性と神性とのミングリング、神性と人性とのミングリングによって、共に神と結合され、ミングリングされ、そして彼をもつて構成されています——ヨハネ 14:20。

C. キリストのからだの実際は、キリストの復活の力を通してキリストの死へと同形化される団体の生活です——ピリピ 3:10。

D. キリストのからだは、ミングリングされた霊の中にあるので、キリストのからだの実際の中にいるとは、ミングリングされた霊の中において、ミングリングされた霊の中で生きることです——ローマ 8:4. 12:4-5. I コリント 6:17. 12:12-13, 27 :

1. ミングリングされた霊の中で生き、活動し、行動することは、からだの中で生き、活動し、行動することであり、またからだの実際の中にいることです——ローマ 8:4. 12:4-5。

2. ミングリングされた霊の中にいることは、実際に、また実行上、キリストのからだの中にいることです—— I コリント 6:17. 12:12-13, 27。

Ⅳ. わたしたちはすべての事で、かしらであるキリストの中へと成長し込む必要があります——エペソ 4:15 :

A. キリストの中へと成長し込むことは、キリストにすべての事において、わたしたちの中で増加していただくことです。ついにわたしたちは、一人の完全に成長した人に到達します—— 15, 13 節。

B. エペソ第 4 章 15 節の「かしら」という言葉が示しているのは、わたしたちの中のキリストの増加によってわたしたちが命において成長することが、かしらの下でからだの中にいる肢体たちが成長することであるべきであるということです。

C. わたしたちはすべての事で、すなわち、大きいことでも小さいことでも、あらゆる一つ一つの事で、キリストの中へと成長し込む必要があります—— 15 節 :

1. わたしたちには、キリストの中へと成長し込んでいない事がなおも多くあります。わたしたちはこれらの事でキリストの中におらず、キリストの外側にいます。

2. わたしたちはみなすべての事で、キリストの中へと成長し込むとき、キリストの中で一です。

D. 命において成長することは、神の増し加わりによって成長することです。からだの成長は、わたしたちの内側の神の増し加わり、増加にかかっています——コロサイ

2:19。

**V. からだの成長は、からだを建て上げます——エペソ 4:16 :**

A. キリストのからだの成長は、召会の中のキリストの増加です。それは、からだをそれ自身によって建て上げるという結果になります—— 3:17 前半 :

1. キリストが聖徒たちの中へと入り、彼らの内側で生きるとき、聖徒たちの内側のキリストは召会となります——コロサイ 3:10-11。
2. キリストのからだは、わたしたちの内側のキリストの増し加わりによって成長し、このようにして建て上げられます—— 1:18. 2:19. エペソ 4:15-16。

B. からだは愛の中でそれ自身を建て上げます—— 16 節 :

1. からだがそれ自身を建て上げる愛は、わたしたち自身の愛ではなく、キリストにある神の愛です。その愛は、わたしたちの中でキリストの愛となります。その愛によって、わたしたちはキリストと彼のからだの肢体仲間を愛します—— I ヨハネ 4:7-8, 11, 16, 19。
2. 愛は神の内在的な実質です。わたしたちは神の内在的な実質の中へと入るとき、愛としての神を享受し、神聖な愛の甘さの中で彼の臨在を享受して、それによってキリストが愛したように人を愛します——エペソ 5:25。
3. わたしたちは神の内在的な実質としての愛の中へともたらされて、キリストのからだを建造する必要があります—— 4:12, 16。